



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

11月8日は収穫祭 農作物も大きく育ちました

今年の夏は異常高温、豪雨、山崩れなどのニュースが連日のように伝わってきましたが、ここふじやま農園はそんな異常気象の影響もなく農作物が順調に育っています。



人の背丈よりも高く成長した里芋、病虫害被害にもあわず青々と葉を繁らせているサツマイモ、太くおいしそうに育った深谷ネギなど、どれもが収穫祭のお客様を歓迎しているかのようです。もちろんその陰には、冬からの土づくり、真夏の水やり・草取りなど年間を通じた地道な作業があればこそ。11月8日は、楽しいこと、おいしいものいっぱいのふじやま公園へ！



ふじやま農園収穫祭

日時 11月8日(土) 11時 (雨天の場合は翌9日)

内容 石焼き芋 100円 先着150名 (引換券は10時半から販売)
ふじやま鍋 100円 先着150名

おもしろゲーム 参加賞あります

お楽しみ抽選会 収穫野菜のプレゼント

サツマイモ・サトイモ掘り体験 小学生先着30名



公園の秋から初冬にかけての風物詩、干し柿の「すだれ」が今年は見られないかもしれない。と言うのは柿の実がちよっと不作のようなのだ。柿は日本古来の果樹で、国内最古の果実とも言われている。英語では柿の木はパーシモンというがその実はカキで通用するほど日本固有のものなのだそう。それがこのふじやま公園では、夏の気候のせい、極端に実が少ないと言う。カキは隔年といわれているが、今年は成る年のはずなのに不作…。公園中の実を集めても干し柿の風物詩を絶やさないと、関係者は気をもんでいるのだが。(写真は昨年のももの)



古民家主屋にお月見飾り

10月4日(土)～13日(月・祝)の間、古民家主屋にススキや秋の農作物を飾りました。お月見飾りは秋の収穫祭のひとつと考えられ、秋の農作物や果物をお供えし、月を鑑賞する行事として、古民家でも毎年行われています。

十五夜「異名：芋名月」は仲秋の名月と呼ばれ、一年で最も月が美しいとされ、次に美しいのが十三夜「異名：豆名月」で、10月6日(旧暦9月13日)の月。さらに、今年は閏九月が入り、何と171年ぶりに「後の十三夜」が出現するそうです。前回の閏九月は、1843(天保14)年ということですから、今年は特別な年にあたるといえます。

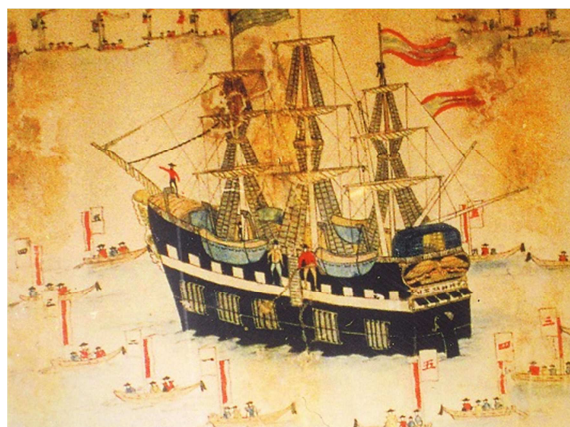
古民家のお月見飾りは13日まででしたが、今世紀では二度とない11月5日(水)のお月さまをご家族で鑑賞し、月と向き合い自然に感謝するひとときとすることができたら素敵ですね。



画像主体の古文書講座です ご参加ください

前月号でお知らせしましたが、11月1日(土)に開催する第13回古文書講座の特徴を紹介します。これまでの講座(小岩井家文書解説講座、講演会など)は、小岩井家に残された古文書の解説勉強会の内容を指導戴いている斎藤先生が講義する形式で行ってきました。勉強会の教材古文書は幕府が定めた御家流のくずし字で書かれていて、慣れないと読みにくく、かつ内容も完全に理解するのも大変でした。講座では人口・田畑・年貢など村のすがた、札所めぐりや神楽奉納などの信仰と祈りや助郷の苦労などを紹介してきました。

今回の講座では、あーすぷらざ映像ホールにて、くずし字の古文書の代わりにかわら版や絵図などの画像などを主に用いて開催します。当時の村々にとって最大の出来事であり、負担にもなった異国船来航に対する村々や人々の動きを斎藤先生が紹介・説明します。古文書を読むのはちょっと・・・と思っている人も是非ご参加ください。(申込み方法は4ページ参照)



カリン バラ科

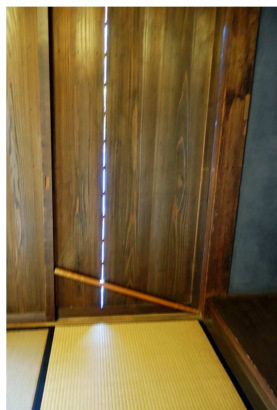
中国原産とされる。収穫は10月初めから12月初旬。独特の芳ばしい香りがする。果実はパパイアと似たややたて長の形、350～500gの大きさで明るい黄色。中には無数の種が入っている。果物といっても非常にかたくて渋く、生で食べる事はできない。生産量のトップは長野県とか。公園のカリンも今年は鈴生り？焼酎に浸けて風邪や咳止めの予防、“カリン酒”に。ポリフェノールやクエン酸が含まれていることから健康茶として。口コミで伝わる化粧水もある。



古民家 Q&A 古民家の戸締り

Q: 古民家に鍵はありましたか? 戸締りはどのようにしましたか?

A: 家の戸、門や蔵の扉などを無断で開けて侵入されたりすることを防ぐための装置が錠と鍵です。錠(錠前、ロック)はしっかりと閉じるための金属製の器具、鍵(キー)は錠を開け閉めする器具です。旧小岩井家において用いられている戸締り器具の例をあげます。雨戸にはサル(猿)が用いられています。これは板戸の戸締まりのために、上棧や下棧につける細木のことで、上下に動きます。上に動



いて鴨居に入るものを上げ猿、下に動いて敷居に入るものを落とし猿(下げ猿)とよびます。

式台から下座敷への引き戸に心張棒が用いられています。これは斜めに傾けて出入口の引き戸部位の片方を固定した状態で使用します。つかえ棒、つっぱり棒とも言います。

長屋門にはかんぬきが用いられています。これは門や家屋の出入口の扉を閉ざすための横木であり、左右の扉に付けた金具に通して開かないようにします。



そのほかに穀蔵の引き戸に錠前が用いられています。

『いろり辺雑記』から(原文のまま)



古民家で8月にいただいたスズムシが元気に夏を越しました。我が家のスズムシは、なすが大好物。今夏、冷蔵庫になすのストックは欠かせませんでした。「リーンリーン」と羽を大きく広げ、すり合わせて鳴く姿は何とも可愛い。優雅な秋を迎えています。(市内 60歳代)

26年11月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解説勉強会	2日(日) 23日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	5日(水)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
	23日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	12日(水)	ふじやまだより編集会議	10日(月)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	11月2日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
押し花	11月11日(火) 13時～16時	冬のけしき押し花絵	2,000円	10月31日(金) 10名
子ども工作	11月16日(日) 10時～12時 〃 13時～15時	紙飛行機を作って飛ばそう 小学生対象 幼児の場合親子	無料	当日 各先着順 10名
遊布	12月 2日(火) 13時～15時	サンタクロース人形 (持参:お針箱)	1,000円	11月20日(木) 10名
押し絵 (全2回)	12月 5日(金) 13時～16時 12月17日(水) 〃	正月飾り	1,500円	11月20日(木) 12名
フラワーアレンジ	12月 9日(火) (全1回) 13時30分～15時30分	クリスマスアレンジ (持参:ワイヤーの切れるはさみ、持ち帰り袋)	2,000円	11月27日(木) 10名
フラワーアレンジ	12月25日(木) (全1回) 13時30分～15時30分	お正月飾り、しめ飾りのア レンジ、どちらかを一つ (持参:はさみ、持ち帰り袋)	1,500円 ～ 2,000円	12月12日(木) 10名
初心者茶道 体験教室	12月20日(土) 13時～16時	古民家で日本の「おもてな し」を茶道を通して体験して みませんか (持参:白いソックス)	500円	11月30日(日) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

- ★ いろり端むかし話の会 いろりの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか
日 時：10月20日(木) 場 所：いろり端 定 員：15名 当日参加自由
- ★ 第13回古文書講座 11月1日(土)14時～16時 あーすぷらざ映像ホール (再掲)
演題：黒船来航時の村むらの様子 参加費：500円 応募方法：往復ハガキで(〆切10月20日)
- ★ 区民まつり 本郷ふじやま公園も出展 11月1日(土)14時～16時 本郷中学校グラウンド
竹炭販売のほかウグイス笛製作などを予定
- ★ 寺子屋(V) 内水氾濫 身のまわりのレッドカード
日 時：12月13日(土)13時～15時30分 場 所：ふじやま公園古民家工作棟
定 員：15名 申込方法：往復はがきで 応募期限：12月10日(水) 多数の場合は抽選



★ 9月ふじやま公園来園者数 1,421名 26年度累計 10,945名

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・開 館 時 間： 9時～17時 ・入 館 料： 無 料 ・休 館 日： 11月5日(水) 毎月第1水曜日 ・ク リ ー ン ア ッ プ： 11月4日(火) 18日(火)10時～11時 一斉清掃 |
|--|

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593